

新しい風

平成28年6月1日発行
 発行責任者 小宮國暉
 事務所 羽村市羽東1-2-9
 TEL・FAX:042-554-1555

6月定例議会に向けて〔平成28年第2回〕

- ◆ 6月議会日程
- ◆ 一般質問『市政を問う』



6月議会日程

活動日	内 容
5月30日	議会改革推進委員会
6月1日	議会運営委員会（6月議会日程、議案取扱審議）
6月6日	会派新しい風政策研究会、庁内関係部長出席（市長提出議案他）
6月9日	定例議会初日・一般質問 小宮1人目午前：高田3人目午後
6月10日～14日	本会議一般質問、14日補正予算審議予定
6月10日	経済委員会（市民インタビューについて） 対象（観光協会会長他ボランティアの方）6月22日動物公園にて実施予定
6月17日、20日	常任委員会予定（陳情案件他）
6月28日	定例議会最終日

一般質問 ～6月議会～

議会初日6月9日（木）（10時開会）

小宮國暉 1人目 午前10時30分頃

1. 小作駅東口の環境改善と賑わいの創出などについて
2. 羽村市の特色である動物公園などを活用した知名度アップについて

高田直登 3人目 午後1時30分頃

1. 羽村らしい地方創生の飛躍に向けて
2. 新たな羽村市の発展に向けチャレンジできる産業振興を目指して

要旨 2年前より、羽村市は国の地方創生への動きに呼应し、全庁をあげて活性化に積極的に対応し、いろいろな事業を展開してきた。昨年は、東京都の中でもいち早く、「羽村市長期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生計画」を策定した。

計画の2年目にあたる今年度は、この計画を着実に実のあるものにし、さらなる飛躍に向け、展開していくことが大変重要である。そこで具体的な取組みについて以下質問する。

質問 昨年策定した「羽村市長期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生計画」を、今後どのように推進していくのか。また具体的な推進体制についての考え方の中に、いわゆる総合的品質管理（TQC）の手法を取り入れたらいかがか。

質問 「羽村市長期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生計画」の具体的事業内容について

① 平成27年度一般会計補正予算（第7号）に計上し、今年度に繰り越した「創業力強化支援事業」について、iサロンのこれまでの利用状況や、予算化された「創業支援体制の強化、創業支援拠点の充実、創業支援事業の充実」についての具体的な事業計画と進捗状況について伺う。

② 昨年度ははむら夏まつりでイルミネーションを使ったにぎわいの創出を行ったが、今年度の予定は。また、一連のイルミネーション事業として小作駅東口広場においてイルミネーションイベントを実施したが、今年度の計画は。

質問 サイクリングステーションに関する検討の状況は。

質問 羽村らしい魅力の発信に向けて、来訪者や定住者の増加につながる方策をどのように考えているか・

質問 今年度はオリンピックイヤーであり、東京2020大会に向けての機運を醸成していくためにも重要な年である。

庁内の組織とともに、市民の方にも参画してもらおうプロジェクトの立ち上げも視野に入れて、取り組まれてはいかがか。



2 新たな羽村市の発展に向けチャレンジできる産業振興を目指して

要旨 近年、経済のグローバル化、地域間・都市間競争の激化など、市を取り巻く社会経済情勢は大きく変化するとともに、市内大手企業の移転、大規模商業施設の出店計画など、大きな変動の時期にあると言える。

こうした社会経済の転換期にあって、改めて、市の産業の現状と課題を明らかにし、今後の施策の方向性や具体的な方策を示すための「羽村市産業振興計画」が平成28年3月に策定された。

市の産業が持続的な発展を遂げるため、この計画を掘り下げ、基軸にして、まちの活力とにぎわいの創出を図っていくことが必要かつ重要との観点から、以下、質問する

質問 「羽村市産業振興計画」をどのように推進し、また検証していく考えか。

質問 羽村市長期総合計画実施計画にある、市内推進委員会（仮称）の設置および運営はどのようなものか。

質問 同じく実施計画にある、羽村地域産業振興懇談会 ではどのように進行管理されていくのか。

質問 商業、工業、農業、観光など異なる産業分野間の横断的な連携とともに「産・学・金・労」「福祉・教育・コミュニティ」との切り口の中から、新たなまちの活力やにぎわいが創出できると考えるがいかがか。

質問 観光振興の柱である「花と水のまつり」では、今回過去最大の観光客数があったと聞いているが、市の観光資源として今後どのように拡充を図っていく考えか。

質問 今後の「花と水のまつり」の充実に向け、魅力発信についてどのように考えているか。

質問 今年は数多くのテレビや新聞に取り上げられ、多くの観光客が訪れたが、その一方で、渋滞問題や駐車場確保など、来場者の交通アクセスに課題が残されたと聞いている。
来年度に向け、どのような対策を考えているのか。



高田和登

1. 小作駅東口の環境改善と賑わいの創出などについて

要旨 小作駅東口の環境改善は以前より市民の方からの要望が強い。その対策と共に、駅周辺のにぎわいの創出について問う

質問 小作駅東口周辺の環境改善について

- ① 新聞報道によると、昨年11月17日には売春あっせんの疑いで5人が逮捕された。「キャバクラ・風俗無料案内所」もあり、風紀・治安が良くない。子どもたちの通学路にもなっており、対策を問う。
- ② 昨年12月18日には「年末繁華街防犯等パトロール作戦」が実施されたが、パトロールの開始時間を午後8時頃に遅らせるべきと考えるが、いかがか。
- ③ 消火栓の前に違法駐車するなど、周辺住民からの不安の声がある。駐車違反をより厳しく取り締まるべきであると考え、いかがか。

質問 小作駅東口広場は、年1度のはむらふるさと祭りに活用されているが、さらに賑わいの創出を図るべきであると考えているが、いかがか。

質問 東芝青梅事業所の閉鎖の影響については、市民の間で不安に思う人が多数いる。

- ① 平成28年3月11日付けの要望書以降の状況を問う。
- ② 羽村市民への影響を最小限にする対策を考えるべきであるが、いかがか。

2. 羽村市の特色である動物公園などを活用した知名度アップについて

要旨 羽村市の知名度アップへの課題はいろいろ考えられる。動物公園や市内在住の芸術家の方々の活用を検討したらいかがか。以下質問する。

質問 羽村市動物公園は、40周年を迎えるにあたってリニューアルを計画している。その計画の概要について伺う。

質問 羽村市動物公園の知名度アップとして、市内在住の絵本作家やイラストレーターのSANAさんとのコラボレーションを企画するのは良いと考えるが、いかがか。

質問 羽村市のシティプロモーションについて

- ① 東京都市長会の調査で、羽村市の認知度が多摩26市中最下位であった。対策を問う。
- ② 「羽村市動物公園」の認知度を高めるため、遠足の候補地に選定するように、都内を含む小学校・幼稚園・保育園にダイレクトメールを出すべきと考えるが、いかがか。
- ③ シティプロモーション推進のターゲットは若い世代の定住促進であり、羽村市動物公園の活用は、その目的に合致していると考えているが、いかがか。
- ④ 羽村第一中学校の吹奏楽部の全国大会金賞受賞は、「音楽のあるまちづくり」の成果として高く評価できる。市内の各小中学校に吹奏楽部等があり、国際的に活躍する音楽家も輩出している。若い世代の定住促進のPRになると考えるが、いかがか。
- ⑤ 羽村市民の中に、漆絵や能面制作などの芸術分野で、高い評価を得ている芸術家もおられる。羽村市の知名度アップのPRになると考えるが、いかがか。



“新しい風を明日のはむらに” ご意見・ご要望お待ちしております

小宮國暉 事務所羽東 1-2-9
電話・FAX：042-554-1555
携帯電話：070-5594-7198
E-mail：k.komiya@t-net.ne.jp

高田和登 事務所小作台 3-15-3
電話・FAX：042-555-4700
携帯電話：080-6860-1211
E-mail：takadakazuto@gmail.com